

■ 1984年
8月20日

第三種郵便物承認

毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

■ 発行人

関西障害者定期刊行物協会

大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円

KSKP
No.92

かいつぶり 通信

施設のなかの「ぴかつとアート」

丹精にゆっくりと
時間をかけて仕上げました。
フォトフレームです。
湖北町公民館に
展示していただきました。



疋田勤さん(湖北タウンホーム)

題字 酒井雄哉大阿闍梨



林 智子さん

を出産。総動脈幹遺残症、水頭症など多数の病気により、8回に及ぶ手術や治療で長期にわたる入院生活の末、医療行為を含む在宅生活に移行。療育教室やこども園に通園していた。2011年12月4日、明音6歳で他界。2013年2月に、書籍『あ～ちゃんの虹』(文芸社)を出版し、小中学校や公民館等での講演、『あ～ちゃんの虹だより』の発行を通じて、命のメッセージを伝える活動をしている。

CONTENTS コンテンツ

〈特集〉 2 ~ 3

「楽しく遊んだら、できることが増えちゃった!」

学習障害(LD)や自閉症を含めた
発達障害のある子ども等へのリハビリテーション

〈お知らせ〉 4

◆ケアホーム(CH)グループホーム(GH)の一元化について

〈レポート・インフォメーション〉 5 ~ 6

◆滋賀県共同募金会の助成事業について

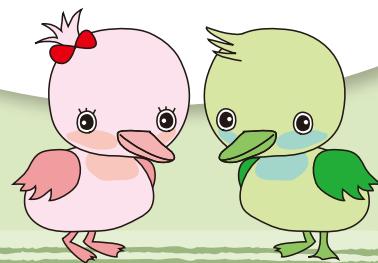
◆第46回全国肢体不自由児者父母の会
連合会全国大会参加報告

〈トピックス〉 7

◆滋賀県障害児協会のホームページをリニューアルしました!

◆縁の下の力もちサン

障害者権利条約ってなに? 8



今日一日を 命いっぱい

笑顔で6年間を生き抜いた最愛の娘、明音。歩くこと、食べること、話すことはできませんでしたが、明音には人を幸せにする魔法の笑顔がありました。呼吸すること、想いを伝えること、表情を出すこと、排泄すること……当たり前のこととはただの一つもなく、何気ない日常の中にこそ最大の幸せが隠れていることを知りました。

「かわいそう」「がんばって」という言葉に最初は戸惑いましたが、明音と過ごすうちに、私の意識は変化していました。声をかけてくださった方のお気持ちを受け取ろう、と思うことで人との出会いが嬉しくなり、本当に多くの出逢いに恵まれました。

明音が亡くなる日は、朝から何度も虹がかかっていたそうです。そして明音の誕生日や命日、私がくじけそうな時も、不思議ですが必ず虹が出るのです。「涙が流れても、必ず心に優しい虹がかかるよ。どんなに辛いことの中にも希望の光があるよ。いつも一緒にいるからね」。虹や夕焼けを見るたびに、そんな明音のメッセージを感じます。

誰かが生きたかった今日、それは、今私たちが生きている今日。今日という奇跡の一日を、命いっぱい生きてほしい、そして、大好きな家族や友達に、『今』会いに行ってほしい、抱きしめてほしい。『今日』伝えてほしい、「ありがとう」「ごめんね」「大好きだよ」って……私の最大の願いです。



特集

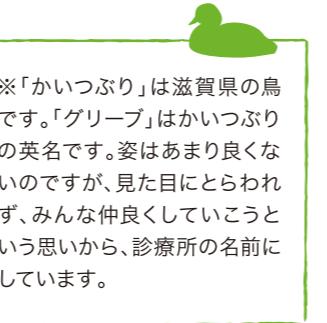
楽しく遊んだら、できることが増えちゃった!

学習障害(LD)や自閉症を含めた 発達障害のある子ども等へのリハビリテーション

湖南ホームタウンの「かいづり診療所」、湖北タウンホームの「湖北グリーブクリニック」は、リハビリテーションを主としています。障害のある方のリハビリテーションは不要と思われがちですが、現状を維持することは大きな支えになります。

中でも、障害児(者)リハビリテーションは学習障害(LD)や自閉症を含めた発達障害のある子ども等へのリハビリテーションとしてご利用をおすすめています。

今回の特集では、両診療所でリハビリテーションを受けられている発達障害のある子どもの親御さんの相談内容や、リハビリテーション内容についてご紹介します。



両診療所でのリハビリテーションは「感覚統合療法」というものです。

感覚統合療法は、アメリカの作業療法士のエアーズ(Ayres,A.J.)がまとめたもので、学習障害(LD)や自閉症を含めた発達障害のある子ども等へのリハビリテーションの一つです。

子どもの様子

感覚統合は右・下の写真のように様々な遊具を使い、抗重力活動の向上、重心移動の経験によるバランス機能の促通を図ります。またその中で達成感や自己有能感を経験し自発行動を促します。さらに、遊びの中でのコミュニケーションから対人関係の促進効果も得られます。色々な遊具を使うことでアイデアが生まれ、自尊心や集中力、学習能力も養われ、表現方法も豊かになると言われています。



お母さんからのコメント

グリーブクリニックでのリハビリは楽しんでおり、意欲的に取り組んでいます。楽しくて優しい先生がいてくれるので、苦手な運動もここでは大好き!リハビリを続けてきたことで走る姿に力が入ってきました。またお絵かきの表現も豊かになりました。私も喜んでいます。
～松枝義陽君の母親(真代様)より～



外来でよく受ける相談

体の動作や感覚に特徴がある子には、平均的な育て方が合わないことがあります。それを知らずに子育てをしていると、子どもに負担をかけ、悩ませてしまします。

例えばこんなことが気になりませんか?

『姿勢・態度に関するこ

- 落ちつきがない(多動性・転導性)集中力に欠ける
- 力加減が分からず乱暴に見える。
- 常に動きまわっている ●疲れやすい
- 姿勢が保ちにくい ●ゴロゴロする
- ぼんやりすることが多い

『不器用に関するこ

- 箸・鉛筆・はさみが上手に使えない
- 遊具遊びがうまくできない
- 縄跳びや跳び箱などが苦手 ●発音に誤りがある。

『こだわりに関するこ

- 物の置き方にこだわる ●遊び方がパターン的
- 一人で遊ぶことが好き ●性格がかたい

『感覚刺激の過敏さに関するこ

- 触れられることが嫌 ●爪切りや散髪が嫌
- 帽子や靴下が嫌 ●歯磨きが嫌 ●手をつなぐのが嫌
- ブランコや高い高いを怖がる
- 人の集まる場所が苦手 ●音やにおいに敏感

『感覚刺激の鈍さに関するこ

- ぐるぐる回っていることが多い。
- 物によくぶつかる ●体の痛みに気づきにくい

このような子どもには、怒ったり注意するよりも遊びを通じて偏った感覚を調整する方が効果的です。注意しても行動を変えない子を見ると、親や保育士、教師等は「育てにくい子」と考えがちですが、育てにくさの背景さえ理解すればいかようにも対応出来るものです。

感覚統合療法はこのような子ども達の弱い部分や好きな感覚などを見極めて、全身を使った楽しい遊びや活動を通して発達を促します。できないことを繰り返し練習して技能を身につけさせるものではなく、内的欲求を見極めて子どもの能動性を意識してアプローチします。その中で子どもたちが上手く生活できるように触覚や体の動き、力の入り具合を知る感覚などがよく働くようにします。「楽しく遊んだら、できることが増えちゃった!」と、子どもたちが楽しく取り組み、力をつけることができるようになるのが感覚統合の遊びです。

※・発達障害の子の感覚遊び運動遊び(株式会社 講談社)
・たのしくあそんで感覚統合ー手づくりのあそび100(かもがわ出版)より抜粋

発達障害について

湖北グリーブクリニック
植松潤治
(小児神経専門医)



発達障害の診断は、血液や画像検査からではなく、行動所見で行います。その基準は世界保健機関(WHO)による「国際疾病分類(ICD-10)」と米国精神医学会による「精神疾患の診断・統計マニュアル(DSM-IV)」です。さらに、診断を複雑化しているのが平成17年施行の「発達障害者支援法」の中の定義です。これらの診断基準を理解されている医師もそれほど多くないために様々な診断が混在して、ご家族や先生なども混乱されるようです。また、広義の発達障害には重症心身障害や脳性麻痺も含まれるため話はさらに複雑になります。今回の特集で扱ったのは、DSM-IVに示される「自閉症スペクトラム障害(この基準も発表されたばかりでまだまだ認知されていません)」に準拠したものです。ただどのような診断基準を用いようと、最初の気づきは御両親です。しっかりとお子様を観察し、「不自然だな」「ちょっと変かな」と感じられたなら専門医にご相談ください。

参考になる書籍

発達障害の子どもがなぜこのような行動をとるのか?
何が原因で困っているのか?
理解するヒントが分かりやすく書かれた書籍です。
皆さんも参考にされてはいかがでしょうか。

「感覚統合Q&A—子どもの理解と援助のために」

佐藤剛(監修)、永井洋一・浜田昌義(編集) 【協同医書出版社】

「こんなとき、どうする?発達障害のある子への支援」

内山登紀夫(監修)、諫訪利明・安倍陽子(編集)
【ミネルヴァ書房】

「ふしぎだね! ?自閉症のおともだち」

内山登紀夫(監修)、諫訪利明・安倍陽子(編集) 【ミネルヴァ書房】

「ふしぎだね! ?

アスペルガー症候群(高機能自閉症)のおともだち
(監修)、諫訪利明・安倍陽子(編集) 【ミネルヴァ書房】

「ふしぎだね! ?LD(学習障害)のおともだち」

内山登紀夫(監修)、神奈川ILD協会(編集) 【ミネルヴァ書房】

「ふしぎだね! ?

ADHD(注意欠陥多動性障害)のおともだち
えじそんくらぶ 高山恵子・内山登紀夫(著) 【ミネルヴァ書房】

各診療所にお気軽に相談ください!

※発達外来受診の場合は予めご連絡下さい。

障害児(者)リハビリテーション施設基準・脳血管疾患などリハビリテーション施設基準(III)、運動器リハビリテーション施設基準(II)取得。理学療法士、作業療法士による機能訓練も行っています。また、感覚統合訓練室も併設されています。

湖北グリーブクリニック

〒529-0102 滋賀県長浜市月ヶ瀬525

◆診療時間 月・火・水・金:午前10時~午後1時／午後2時30分~午後5時
木:午前10時~午後1時
※発達外来受診の際はあらかじめご連絡ください。

◆お問い合わせ TEL:0749-73-3917 FAX:0749-73-3940

かいづり診療所

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1

◆診療時間 月・火・水・金:午前9時30分~午後12時30分／午後2時~午後5時
木:午前9時30分~午後12時30分

◆お問い合わせ TEL:077-514-1715 FAX:077-514-1720

お知らせ

ケアホーム(CH)グループホーム(GH)の一元化について

2014年度に施行されるケアホームとグループホームの一元化について、先日、厚労省より内容が公表されましたので、一部ですが紹介をします。

一元化を進める背景には、

ア) 障害当事者が重度高齢化しても、継続して利用できる住まいの場を確保すること

イ) 現在のGH・CHにおいて、すでに一体的運営がされているところが多い

ウ) 入所施設からの地域移行を促進すること
などがあります。そこで、主に以下のような制度上の工夫がされるようです。

①事業所は、「介護サービス包括型」または、「外部サービス利用型」を選ぶことができる

②「サテライト型住居」を創設し、一人暮らしのニーズにもこたえていく、です。

①については、GHにおいて外部サービス(身体介護に限る)が利用できる点は障害当事者にとってはよくなるように思います。

また②についても、サービスの選択肢が増える点はよいように思います。
しかし一方で懸念されることもあります。

原則、現在のCHは介護包括型を選択することになりそうです。となれば、結局サービス利用の上限があります。またGHにおいても同様であり、障害の重い人(=介護がたくさん必要な人)は、介護絶対量が確保出来ないためこの制度は利用しにくい、という点です。サービスの支給量の決定は、基本的にサービス等利用計画にそって、その決定がされる仕組みです。しかし、現状においても、例えば居宅介護サービスの支給量は各市町村によって格差があり、支給量の上限設定をされているところもあります。本来は、障害当事者が自立した生活をするうえで必要なサービス量が支給決定されるべきですが、現実にはそうなっていないところもあります。今回の制度改革によって、重度高齢化しても、継続してGH・CHでの地域生活が実現できるのかどうなのか、不安は大いに残る内容でもあるように思えます。

一元化後のグループホームにおける介護サービスの提供形態

一元化後のグループホームは、**介護を必要とする者としない者が混在して利用することとなり、また、介護を必要とする者の数も一定ではないこと**から、全ての介護サービスを当該事業所の従業者が提供するという方法は必ずしも効率的ではないと考えられる。一方、これまでのケアホームと同様に、馴染みの職員による介護付きの住まいを望む声もある。

グループホームで提供する支援を「基本サービス(日常生活の援助等)」と「利用者の個々のニーズに対応した介護サービス」の2階建て構造とし、介護サービスの提供については、① **グループホーム事業者が自ら行うか(介護サービス包括型(現行ケアホーム型))**、② **グループホーム事業者はアレンジメント(手配)のみを行い、外部の居宅介護事業所に委託するか(外部サービス利用型)**のいずれかの形態を事業者が選択できる仕組みとする。

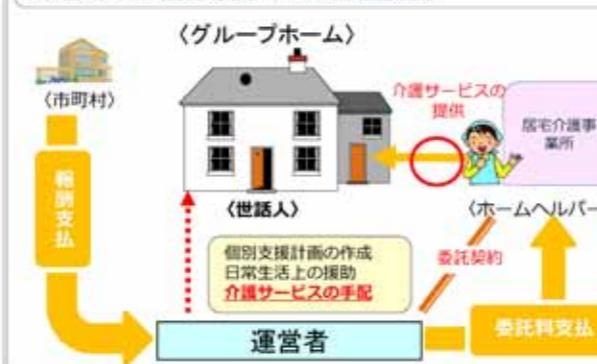
介護サービス包括型のイメージ

★介護サービスについては、現行のケアホームと同様に当該事業所の従業者が提供。
★利用者の状態に応じて、介護スタッフ(生活支援員)を配置。



外部サービス利用型のイメージ

★介護サービスについて、事業所はアレンジメント(手配)のみを行い、外部の居宅介護事業者等に委託。
★介護スタッフ(生活支援員)については配置不要。



※厚生労働省 資料より

レポート

滋賀県共同募金会の助成事業について

父母の会主催 療育キャンプ事業の開催

一泊二日の親子療育キャンプを10月12日(土)~13日(日)、長浜ドーム内の会議室と練習室を会場にして開催しました。このキャンプも共同募金会からの助成を受け、開催することができました。ボイタ法の体験や親子でクッキングを楽しむ活動内容です。

また、宿泊先では保護者とスタッフが集い、貴重な情報交換をすることができました。

二日目も余暇活動を通じて、子どもたちのとびきりの笑顔とふれ合うことができ、楽しいキャンプが実施できました。



湖北タウンホーム 非常口ドア改修工事

平成9年の開所から早や16年が経過し、1階3箇所、2階3箇所の非常口ドアが風雪等によりサビが激しくなり、老朽化していました。また採光窓もないため、生活環境の改善とあわせ、ドアの改修工事が急務となっていました。

今年度、共同募金会からの助成を受け、念願の改修工事を実施することができました。

非常時の避難経路として開閉もしやすくなり、また採光窓を設置したことにより廊下にも明るい光が差すようになりました。

利用者のみなさんからも喜ばれています。

避難誘導の環境整備と生活環境の向上を図ることができました。



両事業に助成をいただいた滋賀県共同募金会に感謝申しあげます。

レポート



第46回全国肢体不自由児者父母の会連合会 全国大会沖縄へ

湖南市手をつなぐ親の会 長谷 康子(長谷翔太 母)

季節はずれの台風で飛行機は欠航の可能性がある中、4人で関空へ。無事に出発!!沖縄へ着くと台風は何処やら。3日間とも晴天。10月なのに半袖でないと暑い。

大会の記念講演では、障害者の立場から、「もっとも望む介助は合理的配慮です。」と発表された電動車いすの伊是名さんの言葉が耳から離れません。結婚して最近お子さんが生まれ、会場にかっこいい旦那様が来ておられました。積極的な伊是名さんに翔太も勇気をもらい、感動していました。とても心に残る講演でよかったです。「修学旅行では前を通っただけやったから。」と翔太の行きたがっていた世界遺産の首里城へも行きました。お城だけに段差だらけ。しかし、階段昇降機やスロープ、エレベーターがいたるところにあり見学コースを全制覇!車いすで全て回れたので感動が2倍でした。沖縄での3日間は、ホテルも食事も車いすだからと困ったこともなく楽しい思い出が残り、障害者にやさしい沖縄を感じました。今年から個人参加になった全国大会ですが滋賀県父母の会より一部旅費応援もあるようです。また参加してみたいです。



Dr.植松の Q & A



Q

赤ちゃんを布でくるんで腕の動きを固定し、足はまっすぐに伸ばして巻く「おくみ」が今、再び流行っているようですが、赤ちゃんにとって良いことなんでしょうか?

A

おくみのように両足を布で巻き込んだ状態で抱っこされるお母さんを見かけますが、その姿勢は股関節脱臼を助長するので絶対にしないようにしてほしいです。最近の論文でもその事は報告されています(英専門誌「小児期疾患アーカイブス(Archives of Disease in Childhood)」)。古代ギリシャ・ローマ時代にまでさかのぼるとされるこの習慣は、全身に軽い負荷をかけて安心感と温もりを感じさせることで、乳児に子宮にいたときの感覚をよみがえらせ、泣きやむといわれているのですが、股関節脱臼を多くするという報告があります。赤ちゃんを泣きやますのであれば、泣き始めた時にすぐに抱っこし、あやしてください。あやすことで、その後の情緒安定の促進にもなると証明されていますよ。



植松潤治先生プロフィール

湖北グリープクリニック 院長

日本小児科学会専門医
日本小児神経学会専門医日本リハビリテーション
医学会認定臨床医

平成元年滋賀医科大学卒業。医学博士。介護支援専門員。日本小児科学会、日本小児神経学会、日本リハビリテーション医学会所属。

詳しくは厚生労働省ホームページを参照してください。
<http://www.mhlw.go.jp/>

トピックス

滋賀県障害児協会の ホームページを リニューアルしました!

11月19日、滋賀県障害児協会のホームページをリニューアルしました。湖北タウンホームや湖南ホームタウンの施設についてもっと知りたい方のため、また、福祉の仕事を志す皆さんに、施設の雰囲気や施設で働くスタッフの声をダイレクトに届けようと、内容を一新。乗光理事長や湖北グリープクリニックの植松先生のお話をはじめ、スタッフのコメントを動画で掲載しています。また、各施設の様子なども、動画でよりリアルに感じいただけるよう工夫しています。

また、スタッフブログやイベント予定など、随時更新するページも充実させていく予定です。ぜひ、こまめにチェックしてください!



滋賀県障害児協会ホームページアドレス
<http://www.open-mind.jp/>



縁の下の力もちサン



寄付金

【湖北タウンホーム】

乗光秀明様、松田功様、伊藤幸子様、瀬田北学区社協様、佐藤ミサ工様、榎並由希子様、岩口由紀様

【湖南ホームタウン】

北村孝様、守山市身体障害者連合会様、株式会社淡海総合会計様、高山徹様、谷内すみ江様、清田雪路様、すぎやまの家様、辻ひとみ様、武宏平様、音楽療法の会 さざなみ様、奥野彰男様、中村喜代司様、乗光秀明様、乗光三津子様

ボランティア

【湖北タウンホーム】

古脇慶子様、伊藤ゆきゑ様、赤井淑子様、藤井恵美・テルロザリオ恵美様、米田礼子様、小唄満智子様、虎姫町老人会様、日赤奉仕団様、八田真衣様、小畠沙織様、田辺太美雄様、高宮和代様、北村マサ工様、清水優佳様、古脇ひとみ様、田辺みづる様、赤井淑子様、中川悦子様

【湖南ホームタウン】

吉身学区社会福祉協議会ボランティア部会様、レイカディア大学34・35期生・うり坊の会様、男性ボランティアグループG・A・G様、ドリーム18会様、樂々20様、キラッピ22様、チューリップ23会様、虹の会24様、2525会様、北川英次様、森田孝子様、村山晴美様、西村孝代様、吉岡信子様、三本栄子様、茶谷正子様、樋口操子様、大倉ミヤコ様、芝田規子様、津田貞子様、津田善之助様、堤ねね様、津田由紀子様、林田博惠様、山田昱子様、寺井美耶様、美濃部文代様、谷口早苗様、近藤欣子様、白崎江里子様、山口未有紀様、内田早苗様、鳥毛裕子様、西村由紀子様、谷原京子様、高橋春弥様、高橋将人様、高橋美紀様、林敏子様、宮崎啓子様、菅邦子様

物品ご寄付

【湖北タウンホーム】

木曾治療院様、米澤重幸様、日清医療食品様、田中佳代様、池田誠造様、高橋敏彦様、池田美代子様、井上拓也様、田中弘様、小川喜久子様、長浜人権擁護委員協議会様、山中晃樹様、八木清司様、福地信治様、上田侃様

【湖南ホームタウン】

峙順子様、田中美枝子様、川那部重次様、森元誉子様、北川英次様、青木えい子様

書き損じハガキが
ございましたら、
父母の会事務局まで
よろしくお願いします。

障害者権利条約ってなに?

シリーズ第18回目

可能性は いつでも、 どこまでも

イラスト:小林一美

ひと昔前にくらべると、障害者が生活しやすい環境の整備がなされてきているように思います。が、完全に自立し、参加し、平等に行動できているかというと、まだまだ。生活に関わるあらゆる面でのアクセシビリティの確保・向上が、スピードアップされますように。



**障害者権利条約から
部分的に抜粋して
ご紹介します。**

**第9条
施設及びサービスの
利用可能性 より…**

第1項

締結国は、障害者が自立して生活し、及び生活のあらゆる側面に完全に参加することを可能にすることを目的として、障害者が、他の者と平等に、都市及び農村の双方において、自然環境、輸送機関、情報通信並びに公衆に開放され、又は提供される他の施設及びサービスを利用することが出来ることを確保するための適当な措置をとる。

障害者の権利に関する条約和文テキスト(仮訳文)より。

※外務省ホームページをご覧下さい。

障害者に関する法は、リハビリテーションや福祉の観点から考えることが多いですが、障害者権利条約は人権の視点、障害者の視点から作られた条約であることが特徴的です。

滋賀県心身障害者扶養共済制度

この制度は、各都道府県が障がい者の保護者の相互扶助の精神に基づき、保護者死亡後の障がい者に終身一定額の年金を支給することにより障がい者の生活の安定と福祉の増進に資することを目的とします。加入者数は、口数ベースで、82,260人、年金受給者は、49,467人となっております。(平成23年度現在)加入者・受給者の皆様、住所等の変更がありましたら、扶養共済窓口までご連絡ください。

■扶養共済窓口
TEL:0749-73-3910 FAX:0749-73-3920



いつも元気でね健診



かいづり診療所では、障がいのある子どもを育てるご家族を対象に、血圧・血液検査などの健康診断を行なっています。保育・療育完備です。詳しくは下記までご連絡下さい。

お申込・お問い合わせはかいづり診療所まで

TEL:077-514-1715

赤い羽根共同募金



社会福祉法人滋賀県障害児協会では、赤い羽根共同募金(社会福祉法人滋賀県共同募金会)からの配分を受けて、かいづり通信の発行をしています。



<http://www.akaihane.or.jp/>

赤い羽根共同募金ホームページ



編集後記

障害者週間中の12月4日、「障害者権利条約」の承認案が参議院で可決され、国会で批准される見通しとなりました。障がい当事者にとって、権利条約の批准はゴールではなくスタートです。機会の平等、参加の平等、だれもが暮らしやすい共生社会の実現に向け、条約に魂を吹きこむことが求められています。(伊吹)

【編集人】

社会福祉法人 滋賀県障害児協会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内
[TEL]077-514-1685 [FAX]077-514-1702 [URL]<http://www.open-mind.jp>
[E-MAIL]kaitsuburi@open-mind.jp

滋賀県障害児者と父母の会連合会

〒524-0022 滋賀県守山市守山町168-1 かいづりハウス内
[TEL]077-583-6395 [FAX]077-514-1702
[URL]http://www.open-mind.jp/about_fubo/ [E-MAIL]info2005@open-mind.jp

■ 1984年 8月20日 第三種郵便物承認 毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行 ■ 発行人 関西障害者定期刊行物協会 大阪市天王寺区真田山町2-2 東興ビル4F 定価100円